

町政運営方針

3つのポイント

今年度の町の指針を3つのポイントにまとめました。

未来へ進め、三芳町！ 2023

01 激動の時代の中で「幸福」への問い

新型コロナウイルス感染症のパンデミックやロシアのウクライナへの軍事侵攻、そしてプラネタリー・バウンダリー（地球の限界）による気候変動。激動の時代の中で、共同体の秩序と個人の生き方に裂け目が生じています。それゆえに、私たちは幸福の観点から人生や社会、そして「まちづくり」について考える必要があるのではないのでしょうか。近年、心と体と社会が良い状態であることを示す「well-being（ウェルビーイング）」という言葉が登場しています。現在策定中の「第6次総合計画」では町独自の「みよしwell-being」を定め、



MIYOSHI 2023 TOPICS

心・体・社会を幸せにするウェルビーイング well-beingとは？

「well-being」が初めて登場したのはWHO（世界保健機関）の憲章の前文で、健康に関する文脈で使われていました。最近では心身の健康だけでなく、心豊かな「幸福」と、良い社会をつくる「福祉」を合わせた意味も持っています。



02 子どもたちの幸せの実現のために

全国では子どもの不登校や自殺が増加するなど、コロナ禍が児童生徒の発達や成長に影を落としています。ポスト・コロナを踏まえながらも、子どもの幸せを指標にして大人も幸せな社会を実現することが重要です。子どもの幸福度世界一であるオランダの日本人学校で教鞭をとった吉瀬亜希子氏は「他人とは違う、自分という存在を意識、自信を持って」生きることが、幸せにつながるのではないかと指摘しています。それは先人たちが説いてきた「立志」とも通じます。二度とない人生をいかに生きるかという「立志の教育」が、一人ひとりの子ども達の幸せにつながり、



MIYOSHI 2023 TOPICS

子どもの幸福度世界一 オランダの教育

オランダでは小学校低学年から子どもたち自身で授業を選べるなど、自由を尊重した教育が行われています。水曜日の午後は学校がお休み。国全体で多様な働き方が認められており、家族の時間を大切にできる環境があります。



03 持続可能なまちの実現に向けて

三芳町では、SDGsのウェディングケーキモデル（※下記参照）をベースに持続可能なまちづくりをめざしていく「みよしフォレストシティ構想」の策定を進めてきました。構想の実現に向けて、推進会議を設置し、アクションプランの施策等の達成をめざしていきます。今後の自治体には今まで以上に、住民や企業、大学等との協力、連携といった「オープンノベーション」が必要です。これからの持続可能な未来のまちづくりとして『共創』に新たな価値を創造する『共創』を加え、革新的なまちづくりモデルや地域活性化につなげる「オープンノベーション」を創出していきます。



MIYOSHI 2023 TOPICS

ウェディングケーキモデルとは？ 17の目標の関係性

ウェディングケーキモデルとは、SDGsの17の目標を3つの分類（環境圏（生物圏）・社会圏・経済圏）に分ける考え方です。地球環境を土台とし、社会、経済が成り立つことをウェディングケーキのような形で表しています。



昨年の晩秋、毎日のように一人黙々と落葉清掃をしている方に出会いました。その姿は眩しく輝いていました。
「古人言く、径寸十枚、これ国宝に非ず。一隅を照らす、これ則ち国宝なり」と（三台法華宗年分学生式）最澄
「むかし、魏王が言った。「私の国には直径一寸の玉が十枚あって、車の前後を照らす。これが国の宝だ。」
すると齊王が答えた。「私の国にはそんな玉はない。だが、それぞれの一隅をしっかりと守っている人材がいる。それぞれが自分の守

一人ひとりが町を創る
黙々と落葉清掃をする人。その人は国の宝であり、町の宝です。その立場立場において、仕事を通じて世のため人のために貢献する。こうした一隅を照らす人が増えれば、町中が明るく輝きます。一人ひとりの意識が町の空気を変え、雰囲気を決め、町の風格というものを創っていきます。
今年度は、一隅を照らしながら

未来のために今を生きる
も強い志と情熱をもって、まちづくりに取り組んでまいります。
引き続き「誰一人取り残さない幸せのまちづくり」35の宣言に基づき、町政進展、住民福祉の増進に向けて尽力してまいります。
今年度は未来のまちづくりへの基礎を創る大事な年です。叡智を集めて、熟慮に熟慮を重ね未来のまちづくりのビジョンを策定しなければなりません。
私たちの使命は、この青く美しく輝く地球を、ふるさと三芳を、未来の子ども達に継承すること

今年度もありません。
「今日」でできることを、1分1秒をもおろそかにしないよう行動を実践していくこと。「当下一念」今を一生懸命生きることで、「熟慮と行動、そして、今を生きる」というまちづくりの姿勢が求められています。■

共に創る「幸せな未来」

三芳町長 林伊佐雄



令和5年度 三芳町施政方針

